

# NEWS GOPE

インターネット・ニュースの見方

eye 1

## 情報の爆発に追いつかない 日本語の情報検索技術

地味だが重要な技術。それは「情報検索」の技術だ。米国では、いくつもの検索エンジンといわれているものが開発され、成果を上げつつある。また、それらの検索ビジネスを日本に持ってこようという動きも活発だ。だが、それで満足いく検索が可能になるかという、そうではない。

(本誌編集長 中島由弘)

### 欲しい情報を探せるか？

インターネットの技術で、いまホットな話題には「SET」という電子決済のプロトコルや暗号化技術などがあげられる。また、音声や動画などをライブストリームとして送る技術にも注目が集まっている。ネットワーク上のプライバシーという意味ではファイアウォールや暗号など、高いレベルにおいての安全性が提供されている。これらは確かに多くの人の問題意識に上がっている重要なものである。

しかし、一見地味ではあるが、重要な技術が「検索」の技術だ。今月の集中企画では、情報検索サーバーについて取り上げた

が、その結果はどれも満足できるものではなかった。

知りたい事柄のキーワードを入れて、インターネットという情報の海の中から探し出す。これを実現するのはインターネットの技術ではなく、日本語処理についての基礎的な技術だ。従来から「かな漢字変換」や、ワードプロセッサで書いた文書の誤字脱字を検出する「校正機能」、またいわゆる「シソーラス」といわれている同義語・類義語辞書の搭載などが求められているが、画期的な解決はされていない。

インターネットとはそれほど関係も深いように思えなかった日本語処理の技術も、ここにきて、その必要性を感じるようになって

きた。情報量の少なかったころは、NTTの「新着情報」から関係ありそうところを探せばよかったが、最近のWWWサーバーの増加ぶりではとても間に合わない。「Yahoo!」などの商用のディレクトリーサービスも登場してきたが、検索という意味では十分とはいえない。

「日本のWWWサーバーには、検索に値するほどの情報はない」という辛口の評論をする人もいるが、これだけの情報が日本語で提供される時代になると、実際に探すという作業は大変なことだ。ましてや各新聞社や出版社が情報をインターネットで提供し始めたことで、検索したいというニーズはますます加速することになるだろう。

### 日本語処理は長年の課題

日本語の場合、英語やヨーロッパ諸国の言葉とは異なり、文章中の単語の識別が難しい。現在でも日本の検索はあくまで文字列の一致というレベルでしか検索をすることができないものが多い。たまたま文節をまたがる文字列と同じ単語を検索した場合、意味のないドキュメントまで検索結果として表示されてしまうことになる。

また、表記も複雑である。漢字表記、ひらがな表記、カタカナ表記は混在している

し、拗读音の表記についても統一されていない。音引きについても「インターフェイス」「インタフェイス」、「インターフェース」などとバラバラだ。

こうした言語特性を理解して、本当に必要としている情報を探し出すということをコンピュータにはもっと支援してもらいたい。ネットサーフィンも楽しいが、あまりにも時間がかかり過ぎる。趣味の世界から一歩出て、知的生産のためのツールとしてインターネットを捉えた場合、いまの検索エンジンの性能ではとても満足できないのである。

## 検索だけではない 日本語のための技術

検索だけではなく、ブラウザも同様だ。

**Interview** 米国サン・マイクロシステムズ社  
エリック・シュミット氏  
Chief Technical Offices and Corporate Executive Officer

## 今後の技術開発の展望 (聞き手: 中島由弘)



編: インターネットは、単なる技術革新だけではなく、それによって私たちの社会や価値観も変えてしまう可能性があります。

エリック氏: インターネットでは、ばかげたものであれ、意味のあるものであれ、個人が考えを発言できる場が提供されています。しかし、ポルノの問題に代表されるように、それに伴う規制というのは各国ごとにあります。ネットワークが地球的な規模になると、各国の市民にどういったものが適切なのかを見極めなければなりません。

こうした新しいものが出てきたときに、それに対する国家とか政府の準備がまだ整っていない状況でしょう。ちょうどテレビが出てきたとき、それは国家を破壊するものだと思われたのと同じことです。

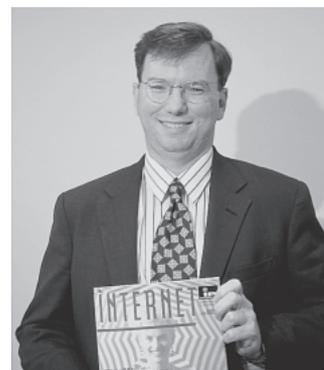


ネットスケープナビゲーターは日本語を表示したり、入力したりすることはできるが、表示される文書の行間は狭くてみにくい。日本語の読みやすい行間というものもある。日本語フォントもきれいとは言い難く「ドキュメント」というにはあまりにもチープだ。インターネットの基本的な可能性についての理解は進んでいるのだから、これからはインターネットを「ゴミの山」にしてしまわないための技術開発を望みたいところである。

先日、米国サン・マイクロシステムズのEric Schmidt氏にインタビューする機会を得たが、そのとき「これからのインターネットに技術として重要になるものは何か?」という質問に対し、「いかにインターネットの中で『探す』かということだ」と言っていた。氏の言われているのは、WWWでの情

報検索だけではなく、インターネットにつながっているホストの識別はもちろん、分散しているさまざまなネットワークリソースをいかに探し出したり識別したりして、そのリソースを共有するかということの意味している。

いずれにしても、今後のインターネット上の情報とリソースが爆発的に増大することを考え、さらなる技術が開発されることを望みたい。



編: 今後の技術的な方向はどうですか?

エリック氏: これからはすべてのものがネットワークにつながっていくという方向にあります。そして、今後はTCP/IPベースのさまざまなデバイスが出てくるでしょう。つまり、携帯電話とか、ポケットベルとか、時計とか…。いまでは考えられないものまでつながる時代がくるでしょう。



編: 情報の暗号化やファイアーウォールなどのプライバシーを守る技術、電子商取引のための技術などの課題はつぎつぎと解決されていますが、今後必要となる技術は何だと思いますか?

エリック氏: 最大の問題は、ネットワーク上で「探す」ことができないということです。

Yahoo!のようなサービスが提供されていますが、これは第一ステップなんですね。これからはデバイスも爆発的に発生しますし、今以上に必要なものを探せなくなってしまう。

セキュリティとか、バンド幅の問題は、技術的にはだいたい解決していますから、あとはお金と時間の問題でしょう。これからは、リソースへの名前づけと検索をどうするかということについて考えていかなければなりません。

たとえば携帯電話の中のコンピュータに「あなたは誰ですか」「あなたはビデオを表示できる機能がありますか」「あなたは音声を鳴らすことができますか」とか尋ね、それに対して答えてくれるようなプロトコルが必要です。これが一番難しいもので、現在取り組んでいる問題です。

**マスターカードとビザが  
電子決済の統一規格  
SETの改訂版を発表**

マスターカード・インターナショナルとビザ・インターナショナルは、クレジットカードによる電子決済を安全に行うことができる統一規格「セキュア・エレクトロニック・トランザクション (SET)」の最新バージョンを発表した。これは、今年2月に発表されたものの改訂版で、ビジネス上の要件、技術仕様書、プログラマーの手引きが含まれている。今後、技術提携先との間で改訂版SETの段階的な実用化試験が行われ、年内にはSETに基づくインターネット上のクレジットカード決済が始まるものと見込まれている。

問い合わせ マスターカード・インターナショナル  
日本支社 TEL 03-5350-8051  
URL <http://www.mastercard.com/>  
URL <http://www.visa.com/>

**テレビとインターネットを  
融合するInterCastが  
アトランタ五輪で実用化**

テレビ放送とインターネットを融合する新放送システムの実用化が、アトランタオリンピック放送で取り組まれている。インテルが開発した「InterCast」技術を利用したもので、NBCが通常のオリンピック放送に加え、番組内容に関連したホームページのデータ放送も同時に行う。視聴者はパソコンでオリンピック番組を見ながら、選手紹介などの関連データも閲覧できる。インテルではコンパック製のコンピュータおよびパソコン量販店のコンプUSAと協力して、この放送を受信できるハードとソフトをコンパックのパソコン「プレサリオ」の新機種にバンドルし、コンプUSAのアトランタ店で販売とプロモーションを開始している。

URL <http://www.inTEL.com/>

**任天堂、野村総研、  
マイクロソフトの3社が  
情報サービス事業で提携**

任天堂、野村総合研究所、マイクロソフトの3社が提携し、衛星データ放送とインターネットを統合した新しい情報提供サービス事業を来年半ばに開始する。これは、任天堂の関連会社であるセント・ギガの衛星データ放送を利用して行う情報サービスと、マイクロソフトがマイクロソフトネットワークを経由してインターネット上で提供する情報サービスとを統合するもので、娯楽、経済、ショッピングなどの情報を会員制でサービスする。3社では、この事業を行うための合弁会社を年内に設立し、衛星データ放送をパソコンに読み込むための「サテライトモデム」は任天堂が開発し、全体システムの開発と運用サービスなどは野村総合研究所が担当する。

**JCBがSETを採用して  
電子商取引事業  
「プラネット」を開始**

JCBと米国マイクロソフトは、インターネット上で電子商取引を安全に行えるサービス「プラネット」(仮称)を早期に開始することで合意した。プラネットはJCBカードの会員がインターネット上で安全に電子決済ができるようにするサービスで、セキュリティ技術として業界標準規格のSETをマイクロソフトからの技術供与により採用する。JCB加盟店によるインターネットショップとJCBが運営するインターネットサイトから構成され、JCBカード利用者はインターネット上で安全な商取引が行える。JCBでは、このサービスの試験運用を今年末から開始し、来年春頃には正式運用をスタートする予定で、当初は200店の規模で開始し、順次拡大していく。

URL <http://www.jcb.co.jp/>

**ユーシーカードが  
電子商取引実験開始  
実験用のカードで決済**

ユーシーカードは、インターネットでのクレジットカード決済の実証実験を開始した。通産省の電子商取引実証実験の第一号としてスタートしたもので、実験用のカード「UCサイバーネットカード」を発行し、仮想商店街「UCモール」を発足させて、セキュリティ技術の信頼性や、利用者の利便性などの検証を行う。通信プロトコルと決済システムは日立製作所と富士通が開発を担当し、セキュリティ技術はSETをベースにしている。また、本人認証機関として「UCサイバースポーツセンター」を構築した。まず、同社の関連企業などの社員約1,000人を対象に開始したが、来年6月からは10万人規模で広く参加者を募集する予定だ。

URL <http://www.uccard.co.jp/>

**アコムが11月から  
インターネット専用の  
決済システムを提供**

アコムは、インターネット専用の決済システム「アコシス」を開発し、11月1日からサービスを開始する。これは、所定の審査を経た会員がインターネットでショッピングを行う場合に、アコムが会員に代わって加盟店に立替え払いをする決済システム。アコムが付与するIDナンバーと、会員が任意に登録する暗証番号とを電子メールでやりとりすることによって認証を行うしくみで、暗号化によりセキュリティも確保している。加盟店手数料は3%とクレジットカード手数料に比べて低く、会員の年会費は300円で、利用限度額は初年度20万円を予定している。

問い合わせ アコム(株)業務推進部  
TEL 03-3221-9360  
URL <http://www.acom.co.jp/acosis/>

## Commerce さくら銀行がインターネット上のバンキング実験開始

さくら銀行は、10月からインターネットを通じてバンキングサービスを利用できるシステムの実験を始める。当初は同行の行員と参加希望の取引先を対象に残高照会サービスを行い、順次サービス内容を拡大していく。

このサービスの特徴は、現行のエレクトロニックバンキングと違って、インターネットに接続できれど特別な銀行取引用ソフトがなくてもサービスを受けられる点にある。個人認証手段は現状の暗証番号方式を採用し、電文の暗号化は独自のセキュリティーシステムを構築して、インターネットと銀行のホストシステムとをオンラインで接続する。

URL <http://www.sakura.co.jp/bank/>

## Shopping 出版流通のトーハンがホームページ上で専門書の受注サービス

出版流通大手のトーハンは、ホームページ「本の探検隊」上で本の受注サービス「BOOK SHOP」を開始した。書店の販売支援を目的としたサービスで、購入する場合は、BOOK SHOPに掲載されている専門書の最新刊約3,000点の中から本を選び、エリア別書店一覧から受け取る書店を選んで所定事項を送信する。これにより、1週間から10日後に指定した書店に注文した本が届くので、そこで購入するしくみ。書店の参加については画面制作料と年間登録料を設定する予定だが、10月末まではテスト運用として無料で体験加入を行い、当初100書店でスタートした。

問い合わせ (株)トーハン 書籍企画課  
TEL 03-3266-9521

URL <http://www.japan.hosting.ibm.com/tohan/>

## USA 米国通信法のわいせつ規制に連邦地裁が違憲と仮判決

今年2月に成立した米国の通信改革法のうち、わいせつ情報の規制条項を巡って争われていた裁判で、フィラデルフィア連邦地方裁判所は、この条項が表現の自由に反すると判断し、同法の施行を差し止める仮決定を下した。この裁判はインターネットの法規制に関する司法判断として世界中から注目を集めていたが、連邦地裁はインターネット上の情報にも出版物と同様の表現の自由が適用されるとの理由から差し止めを認めたもの。また、国内で規制しても海外からわいせつ情報が流入して規制の効果が無いことも指摘している。これに対し、米国政府は、直ちに連邦最高裁判所へ上告して争う姿勢を表明している。

URL [http://www.eff.org/pub/Alerts/960612\\_eff\\_cda\\_decision.statement](http://www.eff.org/pub/Alerts/960612_eff_cda_decision.statement)

## Technology 愛知県の郵便局で電子認証技術の実証実験スタート

電子認証技術を郵便サービスや行政サービスに応用するための実証実験が、9月下旬から郵政省で開始される。愛知県岡崎市の郵便局で行うもので、まず、郵便サービスへの応用実験では、実験協力者にICカードとICカードリーダーを貸与し、電子メールなどで差し出された文書について、郵便局で個人認証・暗号化・データ保存などを行い、受取人に郵便として配達する。また、行政サービスへの応用実験では、電子メールによる行政側への申請文を郵便局で個人認証・暗号化・データ保存を行った後、行政側へ電子メール送信したり、行政側が発行する証明書を逆のルートで申請者に送信したりする。

問い合わせ 郵政省郵務局機械情報システム課  
TEL 03-3504-4401

## Service 米国の大手求人ページ「キャリアモザイク」日本版インテリジェンスが立ち上げ

人材サービスのインテリジェンスは米国のバーナード・ホーデス・アドバタイジングが運営する求人ページ「キャリアモザイク」の日本版を立ち上げる。インテリジェンスがこれまで運営してきた求人情報ページ「キャリアインデックス」が母体となり、当初は150社の求人情報を公開する。

問い合わせ (株)インテリジェンス インターネットグループ TEL 03-5467-4111

URL <http://www.careermosaic.or.jp/>



日本版は8月1日オープン

## Service ニュースや天気予報など好みの情報を表示できる「カスタマイズウェブ」

マイクロソフトは同社が運営するサイトにおいて、WWWのページの表示内容を自分の好みに設定できる「カスタマイズ・ウェブ」の試験運用を開始した。最新ニュースや天気予報、星占いなどの情報の中から自分が必要な情報を選択し、ホームページに表示させる機能のほか、表示内容も朝昼夜の1日3回、指定した画像と音楽に変更される。

URL <http://www.jp.msn.com/>



必要なカスタマイズ項目を設定

**Event** 日本IBMが8月15日から  
砂漠でのラリー情報を  
インターネットで提供

日本IBMは、インターネット1996ワールドエキスポジションへの参加の一環として、8月にモンゴルで開催される「第2回ラリーレイドモンゴル1996」への協賛を発表した。このラリーは8月15日から24日までの10日間、ゴビ砂漠や天山山脈の全走行距離5000キロメートルのコースで開催される。同社はコンピュータを搭載した四輪1台と二輪3台を出走させる。チームIBMの位置情報やレース写真を、これらのコンピュータとGPSとを連動させてインマルサット（海軍衛星）経由で日本へ送信し、ラリー情報を提供する。

問い合わせ 日本アイビーエム(株)ダイヤルIBM  
TEL 0120-04-1992

URL <http://www.ibm.park.org/Japan/Mongolrally/index.html>

**Service** 検索サービスの  
Infoseekが兼松と  
日本法人設立へ

兼松は、インターネット検索サービス大手の米Infoseek（インフォシーク）と合併会社を設立し、8月にも日本語の検索サービスを始める。

キーワード検索についてはホームページの全文からキーワードを収集し、複数の単語もandまたはorの条件で検索できるようにする。また、ホームページの内容を分野別に分類し、専門の編集者が作成した紹介文を添えて表示するディレクトリー機能も搭載し、ユーザーはこの分類の中から目指す項目を選択する。

検索対象は日本語のページにしぼり、新語、複合語や専門用語も検索できるようにする。サービスの利用料は無料で、広告を収入源とする。

**Audition** デジタルクリエイターの  
オーディション「DEP'96」  
9月まで応募受け付け

ソニー・ミュージック・エンタテインメントは「デジタル時代のエンタテインメント」を作り出す才能の発掘と育成を目的としたオーディション「デジタル・エンタテインメント・プログラム'96（DEP'96）」を開催する。受賞者には同社が今後の活動を支援する。対象はゲームデザイナーやシナリオライター、CGアーティストなどあらゆるジャンルのクリエイター。フリー部門のほかCGキャラクターとJavaプログラミング作品も受け付ける。応募希望者は氏名、年齢、住所、電話番号を書いて以下の連絡先に応募用紙を申し込む。

問い合わせ TEL 03-3475-6900  
FAX03-3475-7358

電子メール [dep@nm.sme.co.jp](mailto:dep@nm.sme.co.jp)  
RGE00613@niftyserve.or.jp

URL <http://www1.sony.co.jp/InfoPlaza/SME/Gallery/>

**Event** パルコがShockwaveなどデジタル作品募集  
ワンダースリー大賞'96開催

パルコとシティ出版が運営するPARCO-CITY on Internetは、インターネット上で閲覧できるデジタル作品の公開コンテストを開催しており、8月31日まで作品を募集している。

個人であればプロ・アマは問わず、作品の発表・未発表も問わないが、商用目的のものや、将来商品化を予定している作品は受け付けない。また、使用する素材に関

しては応募者が著作権をクリアすることが前提となっている。

募集部門は「HOT&COOLでスタイリッシュな作品（PARCO部門）」と「へんな作品、笑える作品（GOMES部門）」で、両部門ともHTML、QuickTime Movie、Shockwave Movieでの応募が可能。

事務局での一次選考のうえ、通過作品はPARCO-CITY on Internetで公開し、インターネット上で人気投票を行う（二次選考）。その後、人気投票の結果をふまえ、選考委員による最終選考で各賞受賞作品を決定する。賞品にはパワーマック9500などを用意している。

問い合わせ PARCO-CITY on Internet ワンダースリー大賞'96事務局  
〒102千代田区九段南4-8-21 ㈱シティ出版  
TEL 03-3238-5445 FAX03-3238-9948

URL <http://www.parco-city.co.jp/>



PARCO-CITY on Internet

**Service** あなたの結婚式を  
ホームページで公開する  
ウェディングオンライン

広告の帝国社は子会社ブランニュー・コミュニケーションズを設立し、7月15日から「ウェディングオンライン」を始めた。結婚したカップル、あるいは結婚を控えたカップルの挙式やハネムーンの様子などをホームページに掲載できるサービスで、希望者は掲載料（製作料込み30,000円～）を払って情報を公開できる。

問い合わせ ウェディングオンライン係  
TEL 0120-46-4288

URL <http://www.wol.co.jp/>



Wedding Onlineはカップルの挙式の場をメインに、誰でも無料の結婚恋愛成就や安産祈願のページもある

**Provider** リムネットの利用料込みで  
環境設定済みのパソコン  
ラビドシステムズが発売

ラビドシステムズは、沖電気工業のパソコン「ONES」にリムネットのIDと6か月分の利用料をバンドルして販売を開始した。このパソコンには、28.8Kbpsのモデムが搭載されているほか、インターネットに接続するための設定をすべて完了したインターネット関係のソフトがプレインストールされている。また、リムネットへの加入料8,000円も含まれ、加入手続きも完了しているため、パソコンが手元に届いたら、電源を入れて電話回線につなぐだけで、すぐにインターネットが利用できるようになる。販売は直販方式で行い、価格は218,000円。

問い合わせ (株)ラビドシステムズ リムネット事務局  
TEL 03-5489-5655

URL <http://www.rim.or.jp/Rapid/News/>

**Provider** 東京インターネットが  
個人向けダイヤルアップ  
接続サービス開始

東京インターネットは、個人向けに、低価格の従量制ダイヤルアップP接続サービスを開始した。初期費用は3,000円で、月額基本料金が2時間分の使用料金を含めて500円、追加従量料金は1分当たり3円。また、このサービス開始にあたり、日本テレコムと提携して全国どこからでも1分10円(深夜70秒10円)で接続できる電話料金も設定した。さらに、申し込みをしなくてもインターネットに接続できるプリペイドカード「みてねっと」も発行した。カードに印刷された個別情報でアクセスできるもので、インターネット接続料金と電話料金がセットになっている。価格は100分接続券で2,000円。

問い合わせ 東京インターネット(株)企画室  
TEL 03-3341-6386

**Provider** meshとPC-VANが統合  
新しいサービス  
「BIGLOBE」を開始

NECは、パソコン通信サービス「PC-VAN」と、インターネットサービス「mesh」の個人向けサービス、そしてインターネット上の仮想電子広場「The Cyber Plaza」を融合した新しいサービス「BIGLOBE(ビッググローブ)」を7月26日から開始する。BIGLOBEは1回の入会手続きで従来PC-VANとmeshで提供されていたサービスを利用できる。インターネット接続とパソコン通信の使用頻度により料金体系が3つに分かれており、インターネット接続を中心とした料金体系を選んだ場合、月額2,000円で15時間まで、それ以上は6秒ごとに1円となっており、従来のmeshの個人料金と変わらない。

問い合わせ 日本電気BIGLOBEカスタマーサポート  
TEL 0120-55-0962  
電子メール [info@mesh.ad.jp](mailto:info@mesh.ad.jp)

**Product** 音声機能付き  
電子メールソフト  
「Pront Mail」発売

NTTインターナショナルは、音声メール機能を搭載したマルチメディア電子メールソフト「Pront Mail」(フロントメール)を発売した。イスラエルのコムタッチソフトウェア社が開発したソフトで、電子メールに音声メッセージを簡単につけて送付でき、音声メールと電子メール双方の特徴を活かすことができる。また、GUIを採用して初心者にも使いやすくなったほか、メッセージフィルター処理機能により指定した条件で電子メールフォルダーに自動振り分けできる。価格は9,800円。今後、セキュリティ機能を強化した「Pront Secure」や、家族用の「Pront Home」なども順次発売する予定。

問い合わせ NTTインターナショナル(株)  
情報システム部 TEL 03-5956-9054

**Product** 日本語テキストを  
音声変換するソフト  
沖電気から新発売

沖電気工業は、日本語テキストを音声変換できるソフト「SMARTTALK(スマートトーク)for Windows 95」を発売した。パソコン上の漢字かな混じり文章を自動的に解析し、自然な音声に合成・変換して出力できるソフトで、電子メールの読み上げや、音声応答システムなどに利用できる。また、簡単にアプリケーションを作成できるため、入力した文章の音声による校正や、視覚障害者用の文章入力システムなども構築できる。汎用サウンドボードにより音声出力できるほか、WAVEオーディオファイルに変換することもできる。価格は12,800円。

問い合わせ 沖電気工業(株)インフォメーション  
サービスセンター TEL 0120-490-988  
URL <http://www.oki.co.jp/>

**Product** 動画入りホームページが  
簡単に作成できる  
ソフトをNECが開発

NECのメディア情報研究所は、動画やアニメーション、音楽を活用したホームページが作成できるマルチメディアオーサリングシステム「Media Desc」を開発した。ビジュアルな編集インターフェイスにより、プログラム言語は不要。しかもシナリオテンプレートが用意されているため、コンテンツを画面にはめ込むだけでアニメーション効果を生かしたホームページを作成できる。閲覧する場合はWWWブラウザにMediaDescプレーヤーをプラグインして、シナリオをダウンロードする形となり、素材はオンデマンドで表示される。シナリオと素材が分離されているため、最新素材の活用などアップデートが簡単なことが特徴。NECでは今後、商品化を検討する。

**Product** ニフティマネジャー 1.40  
オンラインショップの  
画像表示機能に対応

ニフティサーブ専用通信ソフト「ニフティマネジャー」の新バージョン（Ver.1.40）が発表された。新バージョンでは、オンラインショッピングの画像対応機能を搭載。これにより、会員は、商品画像を閲覧して商品を選択し、ビジュアル化されたオーダーシートで注文できるようになった。

問い合わせ ニフティ(株) 入会サポートダイヤル  
TEL 0120-508-502

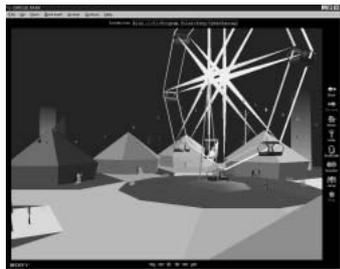


商品データの表示

**Product** VRML2.0規格に対応した  
サイバーパッセージ  
ソニーが発表

ソニーはVRML2.0に対応した3Dブラウザー「サイバーパッセージ Version2 (版)」をリリースした。新バージョンは動きのある3D画像を採用し、Javaとの組み合わせも可能になっている。ソニーは米シリコングラフィックスらとVRMLの次世代規格を共同提案していたが、この提案が承認される見通しとなったため、ソフトを配布することにした。

URL <http://vs.sony.co.jp/VS-E/vstop.html>



仮想三次元空間「Circus Park」

**Product** プログラミング不要の  
Javaオーサリングソフト  
「Jamba」新発売

エム・ピー・テクノロジーは、プログラミングやスクリプト作業、フローチャートを使わずにJavaのアプリケーションを作成できるオーサリングソフト「Jamba」を発売した。米国Amtech社が開発したソフトで、音声、静止画、動画、テキストなどのオブジェクトの属性を設定し、その関連付けを指定するだけでJavaアプリケーションを作成できる。また、ピクチャー・ブックボタンなどを用意しており、インタラクティブなくみも作ることができる。当画面は英語版のみだが、日本語版が発売された時点で日本語版との無償取り替えが可能。価格は88,000円。

問い合わせ (株)エム・ピー・テクノロジー  
TEL 03-3358-9800

URL <http://www.mpotech.co.jp/>

**Product** ホームページの  
英日翻訳ソフト  
東芝から新発売

東芝は8月10日、インターネット英日翻訳ソフト「ASTRANSAC for Internet」を発売する。約19万語の基本辞書を採用し、訳文の頭のマークをクリックすると原文の対応箇所を表示する「翻訳ハイパーリンク」機能を備える。また、高校レベル以上の単語にだけ訳語をつけ、全文翻訳より高スピードで訳語を表示する。価格はCD-ROM版が12,800円で、オプションで情報、電気、化学などの6分野の専門辞書も発売する。



問い合わせ (株)東芝  
コンピュータ・通信  
ネットワーク事業部  
TEL 03-3457-2725

ASTRANSAC for  
Internetによる翻訳例

**Product** TAとDSUがセットの  
パッケージ商品  
伊藤忠商事が発売

伊藤忠商事は、日本テレマーク社製のTA777に、NEC製のDSU (uZ144K II) と「簡単ケーブルキット」をセットにしたパッケージ商品を、オープンブライズ (通販売価格は51,900円) で発売すると発表した。それぞれのマニュアルとは別に、室内配線をわかりやすくビジュアルで解説した配線接続マニュアルを独自に用意した。

それぞれTA777 (37,800円) とDSU (23,900円) を単独で購入して配線工事をNTTに依頼 (約20,000円) する場合と比べて、このセットを購入してマニュアルをもとに自分で室内配線を行えば、NTTの工事費は約2,000円で済むため、約25,000円安くISDN回線を引くことができる。

問い合わせ 伊藤忠コミュニケーション(株)  
TA777販売係 TEL 0120-194-777

**Product** チノンが名刺サイズの  
デジタルカメラ  
「ES-1000」新発売

チノンは、名刺サイズの超小型デジタルスチルカメラ「ES-1000」を発売した。幅100×高さ60×厚さ30mmの大きさで、重量は110gとコンパクト。WindowsとMacintoshそれぞれの接続キットが付属しており、撮影した画像の編集・加工も可能。内蔵フラッシュメモリーに16枚の画像を記録できる。

問い合わせ チノン(株)O1事業部DS商品部  
営業グループ TEL 0266-82-1060



価格は39,800円

# NEWS GOPE

## より高機能なNetscapeで Explorerを迎え撃つ

Netscape Communications Corporation

プロダクト・マーケティングマネージャー/ダニエル・クラウセン氏インタビュー

Netscape Navigatorは標準ブラウザとして圧倒的なシェアを誇っているが、Windows95の追い風に乗れ、マイクロソフトのInternet Explorerの追い上げも急である。編集部は来日中のダニエル・クラウセン氏に、Netscape社が開発中の次世代ブラウザについて話を聞いた。(インタビュー/編集部・小宮 徹)



編：現在Netscape Navigatorは3.0が版となっていますが、その発売時期は？

クラウセン氏：Macintosh、Windows、UNIX版とも7月の中旬の予定です。日本では3か月以内に出せると予想しています。そしてバージョン4.0の版は今年中に登録されて自由にダウンロードできるようになるでしょう。



編：前バージョンの2.0と今回の3.0で大きく変わった点を説明していただけませんか。

クラウセン氏：まず、企業のイントラネットを使う場合の機能が強化されました。各ブラウザが参照する設定値（user preferences）の一括設定や更新、クライアントのデジタル認証機能が可能となりました。そして、オフィスでの共同作業の効率化のために搭載されたのが、リアルタイムでの電話機能（CoolTalk）と情報共有のためのホワイトボード機能です。電話に関しては電話帳に相当するディレクトリーサーバーを用意しています。ホワイトボード機能によって、リアルタイムでテキストや画像のやりとりが可能になっています。

マルチメディア機能の強化も3.0の特長です。次世代のVRML2.0に対応したLive 3Dを取り入れたので、三次元の動画やアニメーションを再生でき、マルチユーザーにも対応しています。また、LiveScriptというプロトコルによってプラグイン、Java スクリプト、Java アプレットの間の通信が可能で、たとえばJavaスクリプトでVRMLをコントロールしたり、VRMLからJavaを起動させたりできます。HTMLはこうしたマルチメデ

ィア技術と同じプラットフォームで扱うための「入れ物」なのです。オーディオビデオ機能も組み込まれました。しかも、それがプログラム可能で、ホームページを表示させながらBGMを流したり、ボタンのクリックに音声を割り付けたり、ホームページ上で行う操作すべてをプラグインやアプレットに連動させることができるようになりました。ビデオも同様です。

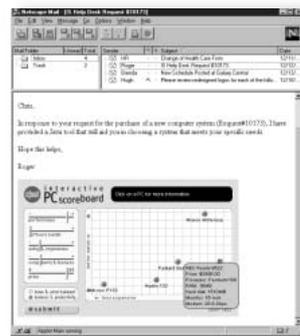


編：ブラウズ機能のほかにコミュニケーション機能が充実していますね。ただ、これまでのメール機能は市販のものに比べて使い勝手が今一つだったように思いますが。

クラウセン氏：Netscape Navigator3.0のメールでは、フォームやJava アプレット、HTMLのページ全体がメール自体に取り込めるようになりました。3.0では便利なアドレスブックが用意されていますが、さらに次のバージョンの4.0では、メールのフィルタリング機能を搭載する予定で、基本的な機能でも市販のメールソフトに十分対抗できるようになるでしょう。



LiveScriptでホームページのマルチメディア化がさらに進化



ホームページやJavaアプレットをメールに添付できる



編：新機能を盛り込んだNetscape Navigatorの販売戦略を聞かせてください。

クラウセン氏：Netscape Navigator単体のほか、カスタマイゼーション・キットや管理者用のキットを用意しています。Netscape Navigatorを販売する会社が出荷前に独自の設定を加えたり、プロバイダーが自分のネットワークに最適な設定に変更することができます。個人向けには、ユーティリティやプログラムを1枚のCD-ROMにまとめたPower Packを提供しています。



編：最近バージョンアップされたマイクロソフトのExplorerが脅威とはなりませんか。

クラウセン氏：Explorer 3.0でやっとNetscape Navigator 2.0と肩を並べるようですね。Explorerは、われわれが1年前にすでに搭載した機能のいくつかをようやく取り込み始めた段階です。しかし、Netscapeが3.0を発表したことで、その差はまた広がったと思います。Windows95にバンドルすることで普及を図っているようですが、われわれはすでに大きなマーケットシェアを確保していますし、今後も変わらないでしょう。ネットワークで版を配布するという流通形態は今後も続けていくつもりです。



## インターネットエキスポ'96 通信

開催期間：1996年1月1日～1996年12月31日

No.9

<http://park.org/>ストリームワークスを使った国内の中継や  
海外イベントが目白押し

エキスポのイベントスケジュールは  
ここでチェック!!

日本ゾーン URL <http://park.org/Japan/>  
イベント広場 URL <http://park.org/Japan/JZone/Low/Leventj.html>

## 国内外のイベントを一挙に紹介

最近、ストリームワークスを使った国内のイベントがインターネット上でごく当たり前のように行われるようになってきた。エキスポのイベントの中でも、「PSI Net World'96」(6月6～8日)、「長崎マルチメディアネットワークフォーラム」(6月10日)、「ANIA 彩の国さいたま大会」(6月13日)、「金沢百万石まつり」(6月17、18日)が中継された。今後もこのようなイベントは増えていきそうだ。

また、海外でもいくつかのイベントが開催されている。6月にカナダで行われた

「INET'96」は、世界中からインターネットの関係者が集まって開かれる会議で、エキスポのカナダパビリオンの中でその様子を見ることができる。

リアルオーディオを使って放送されたのが6月15、16日にサンフランシスコで行われた「TIBETAN FREEDOM CONCERT」だ。このコンサートはチベットの政治的自由を呼びかけるために行われたもので、ピーステイー・ボーイズやビョーク、オノヨーコなどが出演した。

また、秋にはアメリカの大統領選挙の演説などもエキスポの中で見られるようなので、いまからチェックしておこう。

ZEIT-FOTO On-Line Gallery  
(ソニーパビリオン内)URL <http://park.org/Japan/Sony/3DWorld/>VRMLで見るオンライン・フォト  
ギャラリー誕生

今月のおすすめは、ソニーパビリオンの中にオープンしたZEIT-FOTO On-Line Gallery。このギャラリーは、東京都中央区にある「ツァイト・フォト・サロン」の写真をソニーのVRML技術で3D動画に再現したもの。実在するギャラリーの展示とは連動せず、WWWだけの写真展だ。

今回展示されているのは、植田正治、森山大道など、日本の写真史を代表する写真家8名の作品。このギャラリーを訪れると、写真を撮影したときの様子や景色が追体験できる。

作品を見るには、ソニーのパビリオンからVRMLブラウザ「サイバーパッセージ」をダウンロードする(ウィンドウズ版のみ)。近日中に全作品がVRML化される予定とのこと。ホームページのデータが少々重いので、高速回線で接続されているエキスポのパブリックアクセスポイントで試してみるといいだろう。



上：オンライン・フォト・ギャラリー  
下：中央区日本橋にあるツァイト・フォト・サロン

ツァイト・フォト・サロン  
〒103 東京都中央区日本橋室町1-7-2八木町ビル5F  
TEL：03-3246-1370

128KTTH  
モニターインタビュー

## 第2回：能のホームページ

安田 登さん

URL [http://park.org/Japan/128KTTH/ky102/public\\_html/j-o.html](http://park.org/Japan/128KTTH/ky102/public_html/j-o.html)

エキスポ日本ゾーンの中の「128KTTHプロジェクト」(<http://park.org/Japan/128KTTH/>)のモニターに選ばれた方々の活動報告第2弾。今回は能関係の資料が充実している「能のホームページ」を見てみよう。このホームページの制作者で、自らも能を演じる安田さんにお話をうかがってみた。

**Q** 128KTTHモニターに応募してから実際に専用線が引かれるまでの経緯を教えてくださいませんか？

**A** 実はこのモニターの募集をインターネットマガジンの中で見たんですよ。でも、その日が応募の締め切りだったので、ノートパソコンで仕上げた応募作文を公衆電話から送ったんです。それで、めでたくモニターに選ばれたんですが、128Kの回線を引く工事が終わったのが、たしか4月ごろだったと思います。それから、イーサがなかったり、ネットワークボードを自分で買ひ足したりしてやっとつながりました。

**Q** 128KTTHの回線を使用されたご感想は？

**A** 快適ですね。以前は28.8Kのダイヤルアップ接続だったので、動作環境が全然違いますね。ダイヤルアップのときは、ショックウェーブなどの動画や音声データはロードに時間がかかるので、ほとんど再生しませんでした。

**Q** インターネットを始められたきっかけはどん

なことだったのですか？

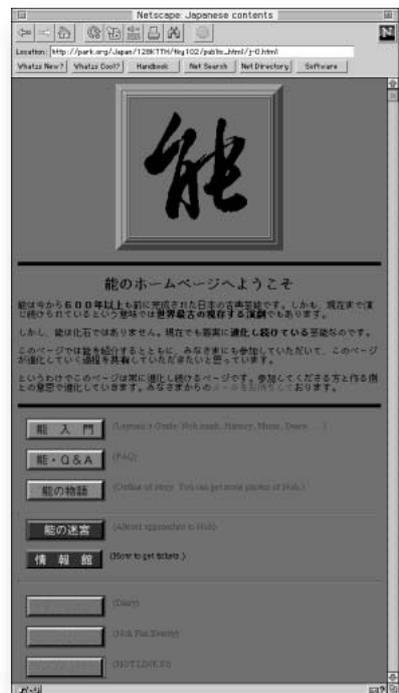
**A** もともとパソコン通信をしていたんです。で、3年前、ニューヨークに行ったときに、ミリタリーの友人にWWWを見せてもらったのが最初です。そのときは軍事関係のところで見たので、すごく快適なネットサーフができました。それが当たり前だと思っていたので、日本に帰ってきてから、あまりに環境が違うのでびっくりしました。

**Q** 能のホームページを作られたきっかけは？

**A** もともと、能をやっていたんですよ。普段は、たいいどこかの舞台にでています。いままでも、アサヒネットの中で能のホームページを持っていたのですが、今回モニターに当選したので、ちょっと内容を追加してエキスポの中にページを上げたいんです。

**Q** 今後はインターネットでどんなことをしてみたいですか？

**A** ストリームワークスが個人でできるようなセ



能のホームページ。

ットがほしいですね。それでいろいろなところに出かけていって、薪能の公演をストリームワークスで中継してみたいです。今のところ、個人では中継できないので残念ですね。

安田さんは甲骨文のホームページも持っているそうで、ほかにもいろいろなお話をうかがった。また、8月24日から9月1日にかけて、仲間とツーリングをしながら東北方面をまわり、青森県の三内丸山遺跡で薪能をされるそう。この様子もホームページで見られるかもしれない。

## IBM パビリオンでモンゴルラリーを観戦しよう

第2回ラリーレイドモンゴル1996

URL <http://www.ibm.park.org/Japan/Mongolrally/>

8月15日～24日まで、モンゴルで「第2回ラリーレイドモンゴル1996」が開催される。このレースは、ゴビ砂漠や天山山脈を10日間かけて走るもので、その協賛チームでラリーにも参加する日本アイ・ピー・エム(株)では、ラリーの様子をエキスポのIBMパビリオンの中で紹介する。

レースに出走する四輪にはThinkPad

560が、二輪にはPalmTop PC110が搭載され、GPSと連動してインマルサット(海軍衛星)経由で位置情報を日本に送信するとのこと。レースの状況はストリームワークスで中継されるそうだ。

ほかにも、ライダーが撮ったレースの写真がホームページに掲載されるので、ラリー好きには必見のページだ。





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)